

横浜市政記者 横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成14年9月2日
環境保全局環境管理課
担当課長 鈴木 671-3445

平成13年度の水質・交通騒音等の環境状況について

このたび、平成13年度の水質、地盤沈下、交通騒音・振動の測定結果がまとまりましたので、例年同様、その概要についてお知らせいたします。

1 水質

(1) 公共用水域 (資料1「平成13年度公共用水域の水質状況について」)

河川及び海域の水質測定は、水質汚濁防止法に基づき神奈川県知事が定める公共用水域水質測定計画により、河川21地点(測定の実担：横浜市11地点、国土交通省8地点、神奈川県2地点)、海域7地点(全地点とも横浜市が測定)の計28の定点で実施しました。このほか、市独自の調査(中小河川調査)を測定計画対象の各河川の上流域や支川の27地点で実施しました。

環境基準の適合状況については、項目により変動はありますが、長期的には改善傾向にあります。

- 人の健康に係る「健康項目(カドミウム、全シアン等)」については、平成11年度に新たな項目として追加された「ほう素(河川を対象)」を除き、長期間にわたり、河川、海域ともにすべての地点で環境基準に適合していました。

なお、ほう素が基準値を超過した地点が5地点ありましたが、5地点とも河川の下流に位置し、海水の影響(海水に相当程度含まれている)を受けたものです。

- 河川の有機性汚濁の指標であるBODが環境基準に適合した地点は、調査対象21地点のうち17地点(81%)で、10年度より3地点増加していましたが、11年度より1地点、12年度より2地点減少しました。

また、海域の有機性汚濁の指標であるCODは、7地点のうち6地点(86%)で基準に適合し、10年度より4地点、11年度より2地点、12年度より1地点増加しました。

- 海域における赤潮の発生等の原因物質である「全窒素」、「全燐」については、7地点のうち各々3地点（10年度は全窒素が2地点、全燐が3地点、11年度と12年度は全窒素、全燐ともに3地点）で環境基準に適合していました。

(2) 地下水（資料2 「平成13年度地下水の水質状況について」）

地下水の水質測定は、水質汚濁防止法に基き神奈川県知事が定める地下水質測定計画により、平成10年度から4か年計画で実施しているメッシュ調査（全市域を1km四方のメッシュに区分したうちの1/4の既設井戸を毎年調査）として76地点と、長期間の観測を行うために本市が設置した定点井戸（16井）のうちの8地点の合計84地点で、カドミウム等の重金属やトリクロロエチレン等の有機塩素化合物、農薬やpH等の一般項目計32項目の調査を行いました。

- 鉛が27地点中26地点で環境基準に適合していました。基準を超過していた地点を再調査したところ、環境基準に適合していました。
 - 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が27地点中24地点で環境基準に適合していました。基準を超過していた地点を再調査したところ、いずれの地点でも環境基準に適合していました。
 - その他の項目については、環境基準に適合していました。
- （12年度調査と対象地点が異なりますが、ほぼ同様な傾向でした。）

2 地盤沈下（資料3 「平成13年度地盤沈下の状況について」）

地盤沈下の状況を把握するため、主に軟弱地盤である沖積低地を対象地域として、毎年精密水準測量を実施しています。

平成13年度は、503地点（平成12年度は515地点）について測定しました。

- 1cm以上の沈下があった地点数は6地点で、沈下面積は0.62km²でした。

（12年度はそれぞれ7地点、0.79km²）

3 交通騒音・振動（資料4 「平成13年度交通騒音・振動の状況について」）

(1) 道路の騒音・振動

騒音の定点測定は24地点、調査依頼による測定は騒音を30地点、振動を16地点で行いました。

- 騒音の環境基準には、定点では8地点、市民からの調査依頼地点でも8地点で適合していました。
定点のうち、昼間の環境基準及び夜間の環境基準の双方に適合していた地点数は、平成11年度が5地点であったものが12年度には6地点、13年度には8地点になるなど増加しました。
- 振動については、16地点すべてが要請限度(資料編30ページ参照)以下となりました。

(2) 鉄道の騒音・振動

新幹線の定点測定は、24地点で行いました。

- 騒音については、15地点(63%)が環境基準に適合しました。
ここ10年間程度でみると2~3dBの低下がみられます。
- 振動については、全地点で環境省指針に適合しました。ここ10年間程度でみると1~2dBの低下がみられます。

(3) 航空機騒音

厚木基地に離発着する航空機の騒音の影響を把握するため、市内の3地点(緑区長津田小学校、瀬谷区相沢小学校、泉区東中田小学校)で常時測定しています。

- 航空機騒音の環境基準値である70WECPNL(加重等価平均感覚騒音レベル)に対し、3地点の最高値でも63WECPNLであり、基準値を下まわりました。

※ 航空機騒音に係る環境基準は、70WECPNL

(飛行場に近接する大和市、海老名市、綾瀬市等、神奈川県知事が指定する地域に適用される基準であり、本市域には適用されません。)

- 経年的にはほぼ同レベルで推移していましたが、平成13年度には泉区東中田小学校で上昇がみられました。

(連絡先)

1	水質について	環境監視センター担当課長	鈴木	671-3445
2	地盤沈下について	水質地盤課長	橘	671-4104
3	交通騒音・振動について	環境監視センター担当課長	鈴木	671-3445
		交通環境対策課長	小山	671-3825

資 料

資料 1

平成 13 年度公共用水域の水質の状況について P. 2

資料 2

平成 13 年度地下水の水質の状況について P. 16

資料 3

平成 13 年度地盤沈下の状況について P. 21

資料 4

平成 13 年度交通騒音・振動の状況について P. 24

資料1

平成13年度公共用水域の水質の状況について

市域における河川及び海域の公共用水域の水質測定は、水質汚濁防止法第16条に基づき、神奈川県知事が定める公共用水域水質測定計画（以下「測定計画」という。）により、河川、海域について市（一部を国、県が分担）が昭和46年10月から実施しています。

このほか、市独自で測定計画の補足調査（以下「市計画」という。）を、各河川の上流域や支川について昭和60年度から中小河川調査として実施しています。

平成13年度の測定結果は次のとおりです。

1 測定内容

(1) 測定期間

平成13年4月～平成14年3月

(2) 測定地点数，測定項目，測定回数

	測定計画	市計画
測定地点数	河川 21	河川 27
	海域 7	(測定計画河川の
	計 28	上流域や支川等)
測定項目	健康項目 26	生活環境項目 4
	生活環境項目 9	
	その他項目 29	
	計 64	
測定回数	年12回（各月1回）	年4回

※ 測定地点により測定項目数は異なります。

2 測定結果

(1) 健康項目（測定計画）

人の健康に係るカドミウム、全シアン等の有害物質26項目について（測定地点により測定項目は異なる。）は、ほう素を除き全地点で環境基準に適合しました。（表1）

環境基準に不適合であった河川のほう素は、海水の影響が強くみられる汽水域にある地点で、自然由来のものです。

(2) 生活環境項目（測定計画、市計画）

有機性汚濁の代表的な指標であるBOD（河川）、COD（海域）について、測定計画の地点での環境基準適合状況は、河川では21地点のうち17地点（81%）、また、海域では7地点のうち6地点（86%）が適合しました。（表3）

(3) 全窒素及び全燐

海域の富栄養化の原因となる全窒素と全燐は、7地点のうちの3地点で環境基準に適合しました。（全窒素の適合地点と全燐の適合地点は同じ。）（表4）

— 参 考 —

1 主要河川的环境基準適合状況（BOD）

13年度は、鶴見川の3地点（千代橋、亀の子橋、都橋）、境川の1地点（新道大橋）を除く17地点で環境基準に適合していました。

水 系		鶴見川	境 川	柏尾川	入江川	帷子川	大岡川	宮 川	侍従川
測定地点数		10	3	3	1	1	1	1	1
環境基準 適合 地点数	10年度	7	0	2	1	1	1	1	1
	11年度	8	3	2	1	1	1	1	1
	12年度	8	3	3	1	1	1	1	1
	13年度	7	2	3	1	1	1	1	1

2 海域の環境基準適合状況（COD）

13年度は、

(1) C類型に指定されている地域では、3地点とも環境基準に適合していました。

(2) B類型に指定されている海域では、4地点中の3地点が環境基準に適合していました。

環境基準適合状況

年度	C 類 型			B 類 型			
	鶴見川河口先	横浜港内	磯子沖	平潟湾内	本牧沖	富岡沖	平潟湾沖
10	適合	適合	適合	不適合	不適合	不適合	不適合
11	適合	適合	適合	不適合	適合	不適合	不適合
12	適合	適合	適合	不適合	適合	不適合	適合
13	適合	適合	適合	不適合	適合	適合	適合

図-1 公共用水域の水質測定地点の配置図

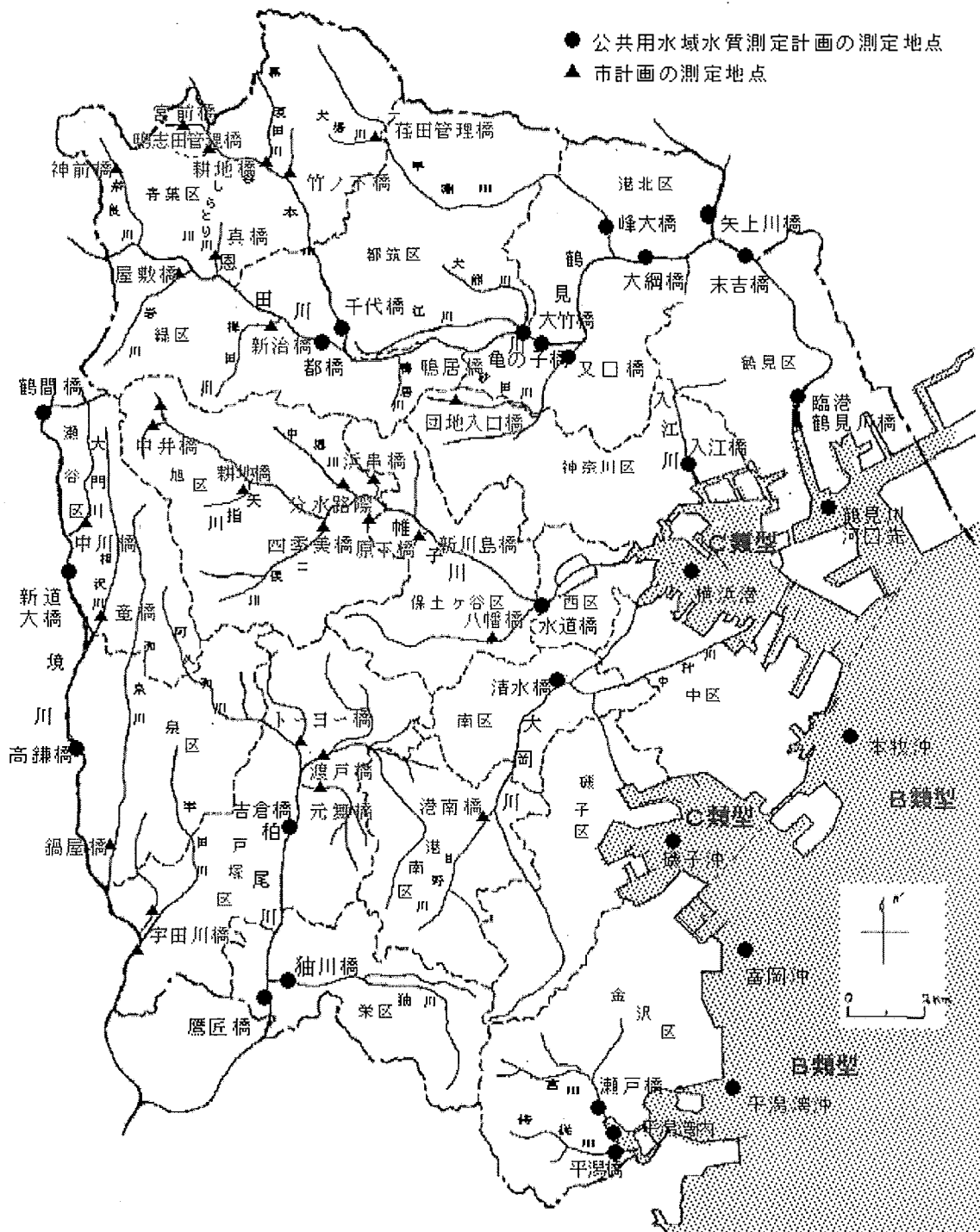


表-1 健康項目の環境基準適合地点数

(平成13年度)

項 目	調 査 地点数	環境基 準適合 地点数	適合率 (%)	項 目	調 査 地点数	環境基 準適合 地点数	適合率 (%)
カドミウム	28	28	100	1,1,1-トリクロロエタン	28	28	100
全シアン	28	28	100	1,1,2-トリクロロエタン	28	28	100
鉛	28	28	100	トリクロロエチレン	28	28	100
六価クロム	28	28	100	テトラクロロエチレン	28	28	100
砒素	28	28	100	1,3-ジクロロプロペン	28	28	100
総水銀	28	28	100	チウラム	28	28	100
アルキル水銀	15	15	100	シマジン	15	15	100
PCB	15	15	100	チオベンカルブ	15	15	100
ジクロロメタン	28	28	100	ベンゼン	28	28	100
四塩化炭素	28	28	100	セレン	28	28	100
1,2-ジクロロエタン	28	28	100	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素	28	28	100
1,1-ジクロロエチレン	28	28	100	ふっ素	21	21	100
シス-1,2-ジクロロエチレン	28	28	100	ほう素	21	16	76

表-2 生活環境項目の環境基準適合状況

(平成13年度)

水 域	測 定 項 目	調査検体数			環境基準					
					適合検体数			適合率(%)		
		測定 計画	市 計画	計	測定 計画	市 計画	計	測定 計画	市 計画	計
河 川	水素イオン濃度 (pH)	1,007	108	1,115	991	91	1082	98	84	97
	生物化学的酸素要求量 (BOD)	1,007	108	1,115	838	90	928	83	83	83
	溶存酸素量 (DO)	1,007	108	1,115	969	108	1,077	96	100	97
	浮遊物質 (SS)	1,007	-	1,007	1,003	-	1,003	99	-	99
	計	4,028	324	4,352	3,801	289	4,090	94	89	96
海 域	水素イオン濃度 (pH)	84	-	84	81	-	81	94	-	94
	化学的酸素要求量 (COD)	84	-	84	70	-	70	83	-	83
	溶存酸素量 (DO)	84	-	84	79	-	79	94	-	94
	n-ヘキサン抽出物質	48	-	48	48	-	48	100	-	100
	計	300	-	300	278	-	278	93	-	93
総 計	4,328	324	4,652	4,079	289	4,368	94	89	94	

基準適合率は、小数点以下1桁目を四捨五入した値。

ただし、適合率が99%を超え100%未満の場合は、99%と表示。

表－3 BOD（河川）、COD（海域）の環境基準適合状況の推移

年 度		元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
河川	測定地点数	19	19	19	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21
	適合地点数	10	9	12	14	13	11	11	13	16	14	18	19	17
	適合率（％）	53	47	63	67	62	52	52	52	76	67	86	90	81
海域	測定地点数	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	適合地点数	6	4	6	6	6	3	3	5	5	3	4	5	6
	適合率（％）	86	57	86	86	86	43	43	71	86	43	57	71	86

表4－（1） 全窒素及び全リンの測定結果（平成13年度）（単位：mg/L）

水域名	類型	測定地点	全 窒 素			全 磷				
			測定値	適 否		測定値	適 否		基準値等	
				環 境 基 準	暫 定 目 標		環 境 基 準	暫 定 目 標		
東京湾 （口）	IV	鶴見川河口先	2.4	×	×	環境基準値	0.20	×	—	環境基準値
		横浜港内	1.2	×	○	1 以下	0.095	×	—	0.09 以下
		磯子沖	0.78	○	○	暫定目標値	0.058	○	—	暫定目標値
		本牧沖	0.96	○	○	1.2 以下	0.068	○	—	なし
		富岡沖	0.80	○	○		0.060	○	—	
東京湾 （二）	III	平潟湾内	0.87	×	×	環境基準値 0.6 以下	0.080	×	×	環境基準値 0.05 以下
		平潟湾沖	0.75	×	○	暫定目標値 0.83 以下	0.061	×	○	暫定目標値 0.065 以下

○：適合 ×：不適合

表4－（2）東京湾7地点における全窒素、全リンの環境基準適合状況の推移

年 度		7年度	8年度	9年度	10年度	11年度	12年度	13年度
全窒素	適合地点数	3	3	3	2	3	3	3
	適合率（％）	43	43	43	29	43	43	43
全 磷	適合地点数	3	3	3	3	3	3	3
	適合率（％）	43	43	43	43	43	43	43

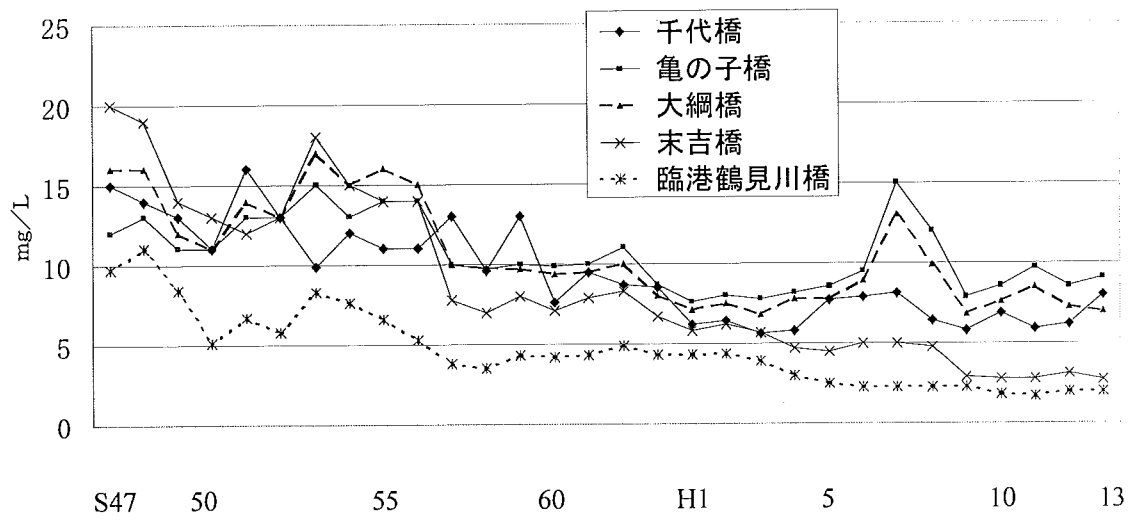


図-2 鶴見川本川のBOD年平均值経年変化 (測定計画)

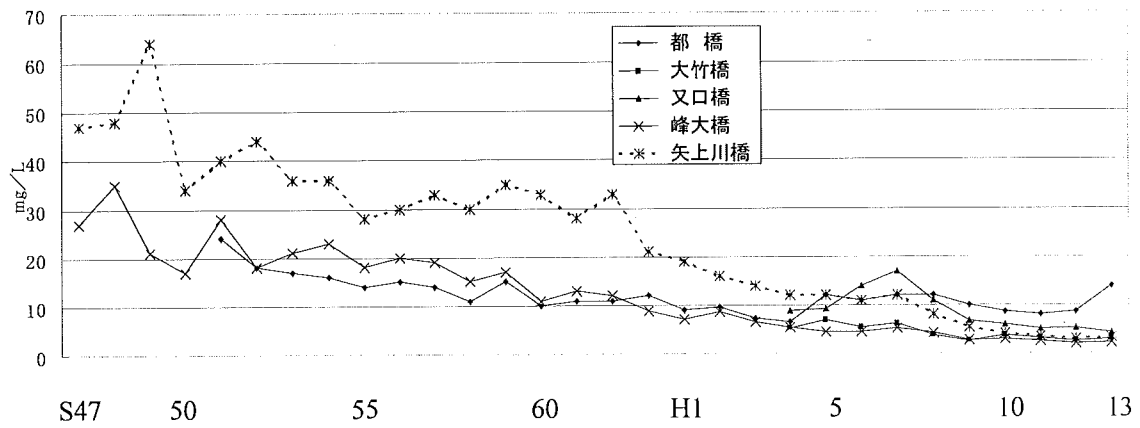


図-3 鶴見川支川のBOD年平均值経年変化 (測定計画)

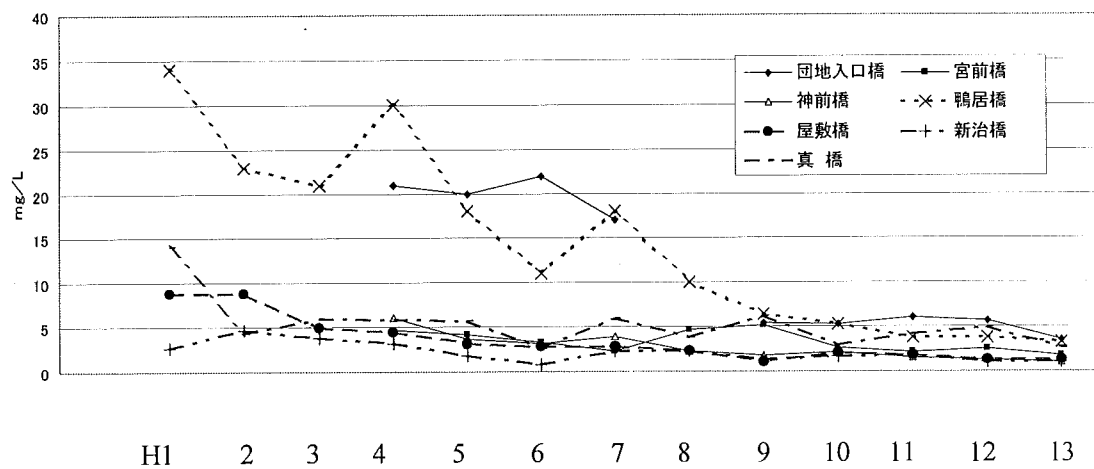


図-4 鶴見川支川のBOD年平均值経年変化 (市計画継続7地点)

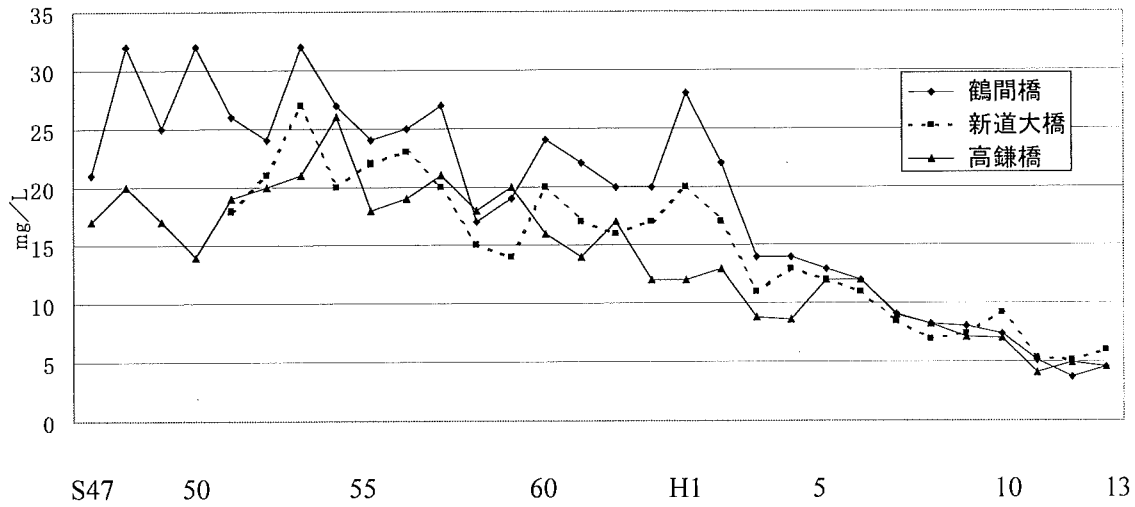


図-5 境川本川のBOD年平均値経年変化 (測定計画)

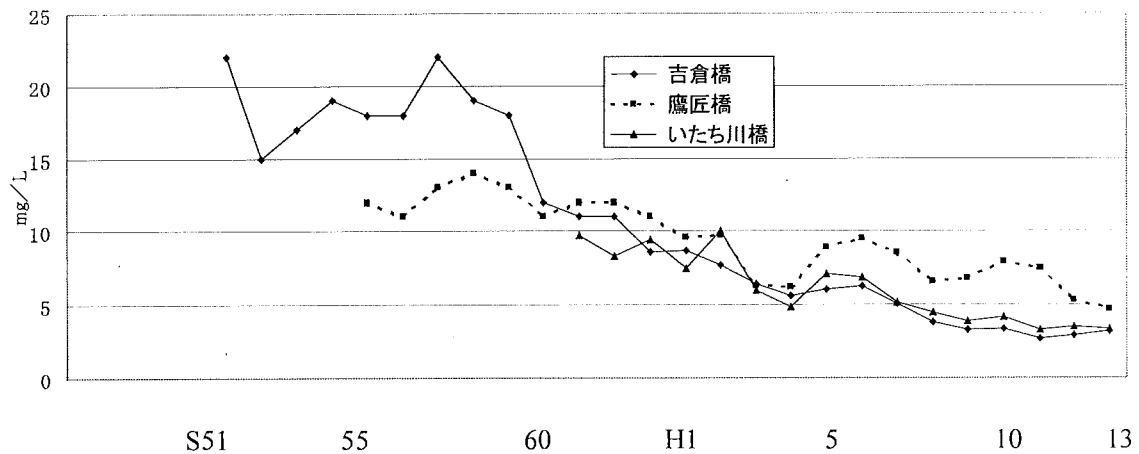


図-6 柏尾川, いたち川のBOD年平均値経年変化 (測定計画)

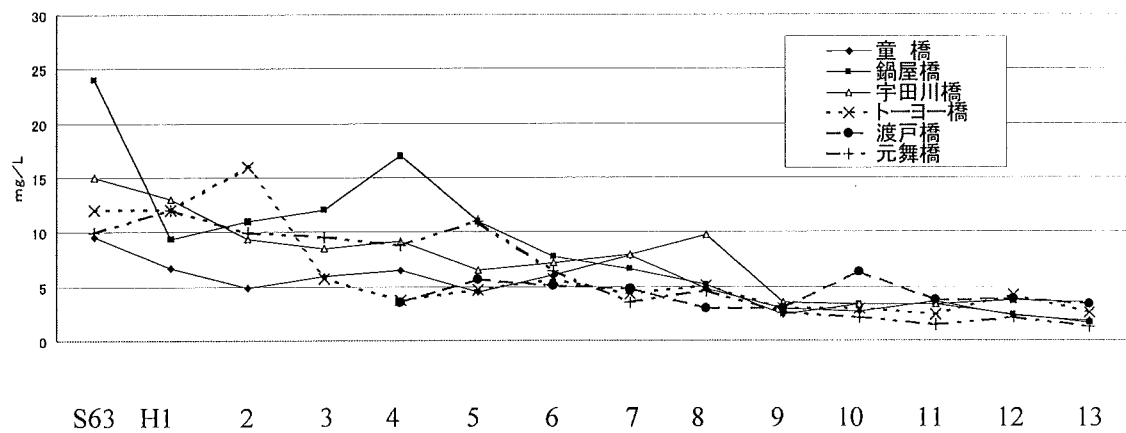


図-7 境川支川のBOD年平均値経年変化 (市計画継続6地点)

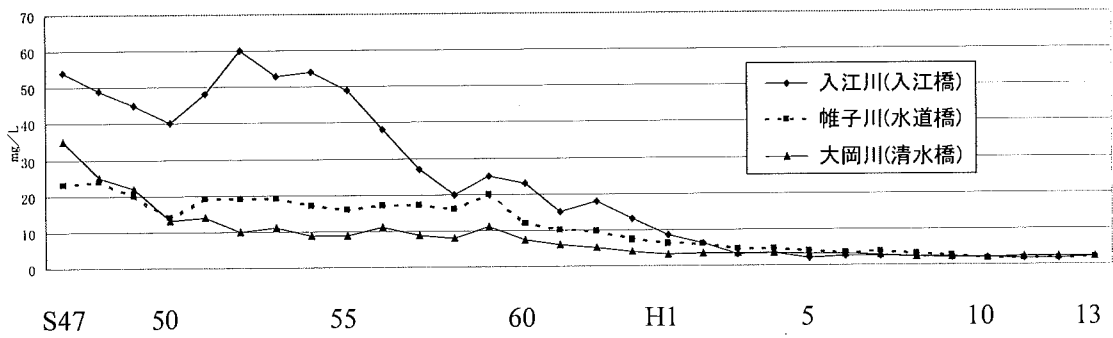


図-8 入江川, 帷子川, 大岡川のBOD年平均値経年変化 (測定計画)

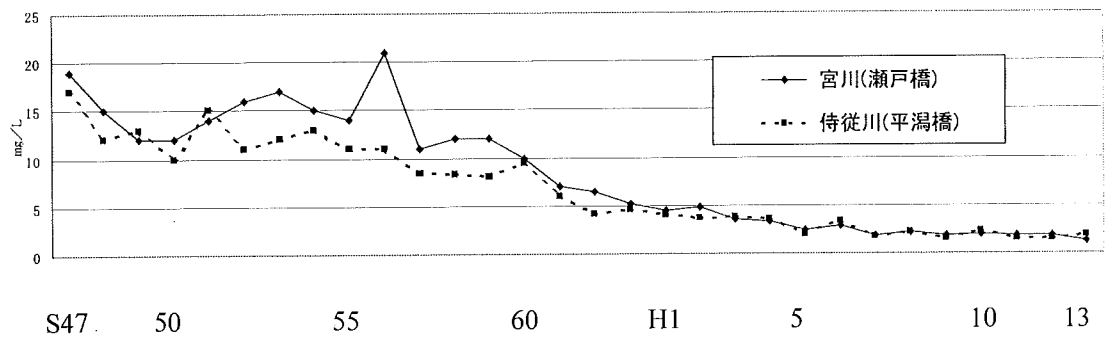


図-9 宮川, 侍従川のBOD年平均値経年変化 (測定計画)

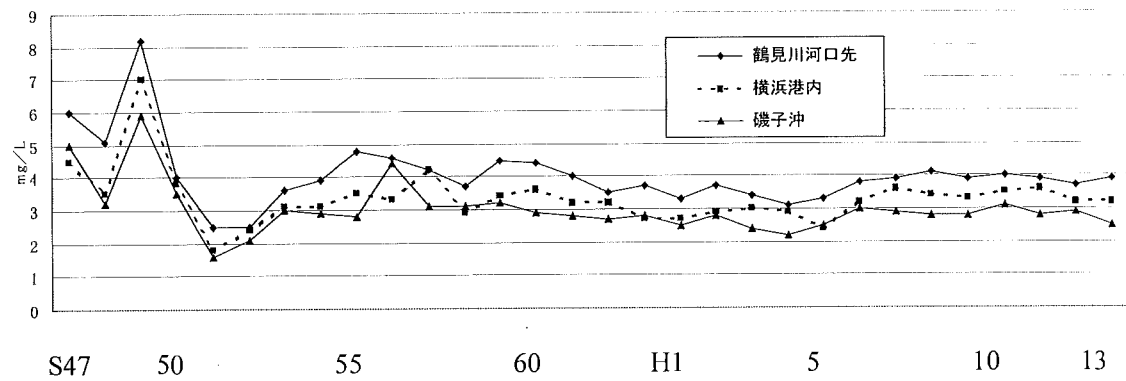


図-10 東京湾(6),(7)水域 (C類型) のCOD年平均値経年変化 (測定計画)

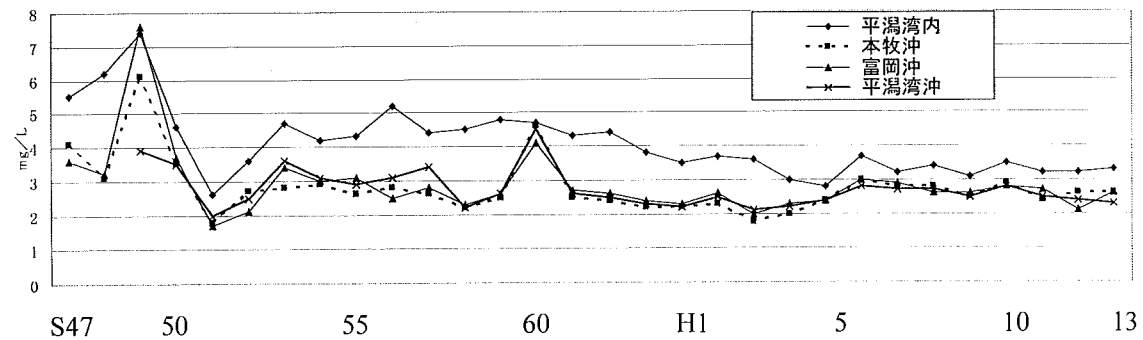


図-11 東京湾(10),(12)水域 (C類型) のCOD年平均値経年変化 (測定計画)

表 5 - (1) 河川の B O D 年 平 均 値 の 経 年 変 化 (単 位 : m g / L)

水域名	類型	河川名	測定地点名	S63	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
鶴見川	D	鶴見川	千代橋	8.5	6.2	6.4	5.6	5.8	7.7	7.9	8.1	6.4	5.8	6.9	5.9	6.2	8.0
	D	"	亀の子橋	8.7	7.6	8.0	7.8	8.2	8.6	9.5	15	12	7.9	8.6	9.7	8.4	9.1
"	E	"	大綱橋	8.0	7.1	7.5	6.8	7.8	7.8	8.9	13	9.9	6.8	7.6	8.5	7.3	7.0
	E	"	末吉橋	6.7	5.8	6.2	5.7	4.7	4.5	5.0	5.0	4.8	2.9	2.8	2.8	3.1	2.7
"	E	"	臨港鶴見川橋	4.3	4.3	4.4	3.9	3.0	2.5	2.3	2.3	2.3	2.3	1.8	1.7	1.9	2.0
	D	恩田川	都橋	12	9.0	9.6	7.3	6.6	12	11	12	12	10	8.6	8.0	8.7	14
"	D	大熊川	大竹橋	-	-	-	-	5.3	6.9	5.4	6.3	3.8	2.7	3.7	3.2	2.7	3.0
	D	鳥山川	又口橋	-	-	-	-	8.9	9.3	14	17	11	6.7	6.0	5.0	5.1	4.3
"	E	早瀬川	峰大橋	8.9	7.2	8.7	6.5	5.4	4.6	4.6	5.2	4.3	2.9	3.0	2.6	2.1	2.2
	E	矢土川	矢上川橋	21	19	16	14	12	12	11	12	8.1	5.5	4.2	3.5	3.1	3.3
入江川	B	入江川	入江橋	13	8.4	6.2	3.1	3.3	1.9	2.6	2.5	2.3	2.0	1.9	1.7	1.7	2.4
	B	帷子川	水道橋	7.5	6.2	6.0	4.5	4.5	4.1	3.3	3.8	3.1	2.6	1.8	1.7	1.6	1.9
大岡川	B	大岡川	清水橋	4.1	3.1	3.4	3.3	3.3	3.1	3.0	2.8	2.2	2.2	2.1	2.3	2.3	2.3
	B	宮川	瀬戸橋	5.2	4.5	4.9	3.6	3.3	2.4	2.9	1.8	2.2	1.8	2.0	1.8	1.8	1.3
侍従川	B	侍従川	平潟橋	4.6	4.0	3.7	3.8	3.6	2.1	3.3	1.7	2.2	1.5	2.3	1.5	1.6	1.9
	D	境川	鶴間橋	20	28	22	14	14	13	12	9.1	8.2	8.0	7.4	5.1	3.7	4.5
"	D	"	新道大橋	17	20	17	11	13	12	11	8.4	6.9	7.4	9.2	5.3	5.1	6.0
	D	"	高鎌橋	12	12	13	8.8	8.6	12	12	9.0	8.2	7.1	6.7	4.1	5.0	4.5
"	D	柏尾川	吉倉橋	8.6	8.7	7.7	6.4	5.6	6.1	6.3	5.1	3.8	3.3	3.4	2.7	2.9	3.2
	D	"	鷹匠橋	11	9.6	9.7	6.3	6.2	8.9	9.5	8.5	6.6	6.8	7.9	7.5	5.3	4.7
D	いたち川	いたち川	いたち川橋	9.4	7.5	10	6.0	4.9	7.1	6.9	5.2	4.5	3.9	4.2	3.3	3.5	3.4

表 5 - (2) 河川の B O D 7 5 % 値の経年変化 (単位 : m g / L)

水域名	類型	河川名	測定地点名	S63	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
鶴見川	D	鶴見川	千代橋	11	7.1	7.2	5.9	6.4	8.5	8.5	9.6	8.1	7.2	8.7	6.1	7.2	11
	D	"	亀の子橋	10	9.2	9.7	9.1	10	9.4	11	20	15	9.7	11	10	11	11
	E	"	大綱橋	9.0	8.3	9.0	8.0	11	10	12	18	11	9.6	9.6	10	8.0	9.2
	E	"	末吉橋	7.9	6.8	7.9	6.6	5.6	5.5	5.6	5.3	5.7	3.5	3.0	2.9	4.2	3.4
	E	"	臨港鶴見川橋	4.5	4.5	4.9	4.1	3.4	2.4	2.6	2.6	2.5	2.5	2.1	1.8	2.1	2.1
	D	恩田川	都橋	13	10	10	8.4	7.4	11	13	12	15	11	11	10	11	16
	D	大熊川	大竹橋	-	-	-	-	5.7	6.7	6.5	8.1	4.3	2.6	4.0	3.6	3.4	5.0
	D	鳥山川	又口橋	-	-	-	-	9.8	10	16	20	13	7.2	7.3	5.4	5.0	5.7
	E	早瀬川	峰大橋	11	6.8	11	6.5	6.2	5.7	5.6	5.2	6.1	3.8	3.4	3.1	2.4	2.0
	E	矢上川	矢上川橋	22	22	18	18	12	13	12	14	8.2	6.6	4.6	4.1	3.8	4.1
入江川	B	入江川 ※	入江橋	16	7.2	5.9	4.4	3.0	2.1	3.2	2.5	2.3	1.8	1.7	1.7	2.1	2.6
帷子川	B	帷子川 ※	水道橋	9.0	7.4	6.3	5.1	5.0	4.6	3.3	4.7	3.2	2.2	1.9	1.8	1.8	1.9
大岡川	B	大岡川 ※	清水橋	4.7	3.6	3.6	3.7	3.8	4.1	2.8	3.5	2.3	1.9	2.4	2.6	2.2	2.5
宮川	B	宮川 ※	瀬戸橋	5.6	5.2	6.0	4.0	3.6	2.7	2.8	2.0	2.5	2.0	2.2	2.2	1.9	2.1
侍従川	B	侍従川 ※	平潟橋	4.8	4.1	4.1	5.1	3.8	2.3	2.4	1.9	3.0	1.8	2.6	1.6	1.6	2.3
境川	D	境川	鶴間橋	25	37	27	16	14	15	11	12	10	8.8	8.1	5.2	5.6	5.0
	D	"	新道大橋	23	26	19	12	14	15	12	9.1	9.1	10	12	5.7	6.6	8.1
	D	"	高鎌橋	13	13	12	10	9.4	12	15	12	9.9	8.6	8.2	4.6	6.7	6.6
	D	柏尾川	吉倉橋	9.7	8.7	8.8	6.9	6.1	6.5	7.7	5.6	5.1	3.9	3.9	2.7	3.1	3.7
	D	"	鷹匠橋	11	12	11	7.8	7.3	7.1	11	7.6	6.7	7.7	11	8.1	5.6	4.9
	D	いたち川	いたち川橋	10	8.9	12	8.3	4.9	7.8	7.4	7.8	4.9	4.3	5.2	3.6	4.3	4.2

○環境基準 B : 3mg/L以下 (平成12年度から適用), D : 8mg/L以下, E : 10mg/L以下,
 ※印のある地点の類型は従来 E でしたが, 平成12年度から B に変更されました。

■ : 環境基準不適合

表 6 - (1) 東京湾のCOD年平均値の経年変化 (単位 : m g / L)

水域名	類型	測定地点名	S 63	H 元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
東京湾 6	C	鶴見川河口先	3.7	3.3	3.7	3.4	3.1	3.3	3.8	3.9	4.1	3.9	4.0	3.9	3.7	3.9
		横浜港内	2.7	2.7	2.9	3.0	2.9	2.4	3.2	3.6	3.4	3.3	3.5	3.6	3.3	3.2
東京湾 7	C	磯子沖	2.8	2.5	2.8	2.4	2.2	2.5	3.0	2.9	2.8	2.8	3.1	2.8	2.9	2.5
東京湾 10	B	平潟湾内	3.8	3.5	3.7	3.6	3.0	2.8	3.7	3.2	3.4	3.1	3.5	3.2	3.2	3.3
東京湾 1 2	B	本牧沖	2.2	2.2	2.3	1.8	2.9	2.4	3.0	2.8	2.8	2.5	2.9	2.4	2.6	2.6
		富岡沖	2.4	2.3	2.6	2.0	2.3	2.4	2.4	3.0	2.9	2.6	2.6	2.8	2.7	2.6
		平潟湾沖	2.3	2.2	2.5	2.1	2.2	2.4	2.4	2.8	2.7	2.7	2.5	2.8	2.5	2.4

表 6 - (2) 東京湾のCOD 7 5 % 値の経年変化 (単位 : m g / L)

水域名	類型	測定地点名	S 63	H 元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
東京湾 6	C	鶴見川河口先	4.4	4.1	3.8	3.7	3.2	3.9	4.5	4.3	5.3	4.3	4.6	4.7	4.1	4.5
		横浜港内	3.5	3.0	3.2	3.5	3.0	2.8	3.5	3.5	4.3	4.3	3.4	4.7	4.2	3.8
東京湾 7	C	磯子沖	3.5	2.6	3.3	2.7	2.4	3.1	3.2	3.5	3.3	3.0	3.9	3.3	3.4	3.1
東京湾 10	B	平潟湾内	4.7	3.6	4.6	3.8	3.1	3.4	4.4	3.7	4.4	3.6	4.1	3.8	3.4	4.0
東京湾 1 2	B	本牧沖	2.8	2.3	2.5	2.1	2.0	2.6	3.6	3.4	3.2	2.5	3.9	3.0	2.4	2.7
		富岡沖	3.4	2.4	3.2	2.4	2.4	2.6	4.1	4.1	3.6	3.0	2.8	3.4	3.2	3.1
		平潟湾沖	3.0	2.3	3.2	2.5	2.2	2.5	3.1	3.1	3.2	2.8	2.6	3.1	3.1	2.5

○環境基準 B : 3mg/L 以下, C : 8mg/L 以下,

■ : 環境基準不適合

表-7 中小河川のBOD年平均値の経年変化(市計画) (単位: mg/L)

水域名	類型	測定地点名	S63	H元	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	
鶴見川	D	砂田川	-	-	-	-	21	20	22	17	-	5.4	5.3	6.0	5.7	3.5	
	D	黒須田川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.2	1.9	1.5	1.9	
	D	布川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	2.3	1.9	2.2	
	D	寺家川	-	-	-	-	4.6	4.2	3.3	2.3	4.7	5.1	2.6	2.1	2.5	1.8	
	D	鴨志田川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.5	2.6	2.9	2.2	
	D	奈良川	-	-	-	-	6.4	3.6	3.1	3.9	2.2	1.8	2.1	1.5	1.2	1.0	
	D	大場川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.3	1.2	1.0	1.7
	D	鴨居川	-	34	23	21	30	18	11	18	10	6.4	6.4	5.3	3.8	3.7	3.2
	D	岩川	-	-	8.8	4.9	4.4	3.1	2.8	2.8	2.3	1.0	1.0	2.0	1.8	1.3	1.2
	D	梅田川	-	-	2.6	3.7	3.1	1.7	0.7	2.3	2.3	1.3	1.3	1.6	1.7	1.0	1.0
	D	しらとり川	-	-	4.3	5.9	5.8	5.7	2.6	5.9	3.8	6.2	6.2	2.9	4.2	4.9	2.6
	帷子川	B	堀谷戸川※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.8	5.2	5.0	4.5
		B	矢指川※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.0	3.2	2.0	1.8
B		今井川※	-	-	-	-	6.1	7.5	3.8	6.5	4.0	1.9	2.5	3.2	2.0	1.9	
B		中堀川※	28	38	15	8.9	8.6	11	7.0	9.9	6.2	5.1	5.4	6.8	6.8	3.4	3.2
B		二俣川※	43	32	21	11	23	14	18	11	9.5	5.0	5.8	4.9	3.5	4.1	
B		新井川※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8.3	6.1	4.6	5.9	
B		くぬぎだいら川※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.1	2.3	2.1	2.0	
B		菅田川※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3.4	4.2	3.2	3.1	
B		日野川※	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.4	2.1	2.6	8.5	
D		大門川	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.4	4.2	4.9	2.4	
D		相沢川	9.6	6.7	4.9	5.9	6.5	4.5	6.0	7.8	4.8	3.0	3.0	2.7	3.6	2.3	1.8
D		和泉川	24	9.4	11	12	17	11	7.7	6.6	5.2	2.4	3.3	3.3	3.3	2.4	1.6
D		宇田川	15	13	9.4	8.5	9.2	6.5	7.2	7.9	9.7	3.5	3.5	3.3	3.3	3.7	3.5
D	阿久和川	12	12	16	5.7	3.7	4.7	5.6	4.3	5.1	3.5	3.0	3.0	2.4	4.2	2.6	
D	平戸永谷川	-	-	-	-	3.5	5.6	5.1	4.8	3.0	3.0	3.0	6.3	3.7	3.8	3.3	
D	舞岡川	9.9	12	9.9	9.6	8.8	11	6.4	3.5	4.6	2.6	2.6	2.1	1.4	2.1	1.2	

※印のある地点の類型は従来 E でしたが、平成12年度から B に変更されました。

○ 人の健康の保護に関する環境基準（公共用水域及び地下水に適用）

(mg/L 以下)

項目	基準値	項目	基準値
カドミウム	0.01	1,1,1-トリクロロエタン	1
全シアン	検出されないこと	1,1,2-トリクロロエタン	0.006
鉛	0.01	トリクロロエチレン	0.03
六価クロム	0.05	テトラクロロエチレン	0.01
砒素	0.01	1,3-ジクロロプロペン	0.002
総水銀	0.0005	チウラム	0.006
アルキル水銀	検出されないこと	シマジン	0.003
PCB	検出されないこと	チオベンカルブ	0.02
ジクロロメタン	0.02	ベンゼン	0.01
四塩化炭素	0.002	セレン	0.01
1,2-ジクロロエタン	0.004	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10
1,1-ジクロロエチレン	0.02	ふっ素	0.8
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04	ほう素	1

直ちに達成され、維持されるように努めるものとする。

基準値は年間平均値とする。

ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。

○ 生活環境の保全に関する環境基準（公共用水域に適用）

1 河川（湖沼を除く）

類型	利用目的の適応性	水素イオン濃度指数 (pH)	生物化学的酸素要求量 (BOD)	浮遊物質 (SS)	溶存酸素量 (DO)	大腸菌群数
B	水道3級 水産2級 及びC以下の欄 に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	3 mg/L 以下	25 mg/L 以下	5 mg/L 以上	5,000 MPN/100mL 以下
C	水産3級 工業用水1級 及びD以下の欄 に掲げるもの	6.5 以上 8.5 以下	5 mg/L 以下	50 mg/L 以下	5 mg/L 以上	—
D	工業用水2級 農業用水 及びEの欄に掲 げるもの	6.0 以上 8.5 以下	8 mg/L 以下	100 mg/L 以下	2 mg/L 以上	—
E	工業用水3級 環境保全	6.0 以上 8.5 以下	10 mg/L 以下	ごみ等の浮 遊が認めら れないこと	2 mg/L 以上	—

1 基準値は、日間平均値とする（湖沼、海域もこれに準ずる。）。

2 大腸菌群数に係る基準値については、当分の間適用しない。

(平成12年10月31日 神奈川県告示第702号)

※ 水道3級：前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

※ 水産2級：サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

- ※ 水産3級：コイ、フナ等，β-中腐水性水域の水産生物用
- ※ 工業用水1級：沈殿等による通常の浄水操作を行うもの
- ※ 工業用水2級：薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの
- ※ 工業用水3級：特殊の浄水操作を行うもの
- ※ 環境保全：国民の日常生活（沿岸の遊歩道を含む。）において不快感を生じない限度

2 海域

ア

類型	利用目的の 適応性	水素イオン 濃度指数 (pH)	化学的酸素要求量 (COD)	溶存酸 素量 (DO)	大腸菌 群数	n-ヘキサン 抽出物質 (油分等)
B	水産2級 工業用水 及びCの欄に掲 げるもの	7.8 以上 8.3 以下	3mg/L以下	5mg/L 以上	—	検出されない こと
C	環境保全	7.0 以上 8.3 以下	8mg/L以下	2mg/L 以上	—	—

イ

類型	利用目的の適応性	全窒素	全磷
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの (水産3種を除く)	0.6 mg/L以下 [0.83mg/L以下]	0.05 mg/L以下 [0.065mg/L以下]
IV	水産3種，工業用水，生物生息環 境保全	1 mg/L以下 [1.2mg/L以下]	0.09 mg/L以下 [なし]

- ※ 基準値は，上層の年間平均値とする。
- ※ 水域類型の指定は，海洋植物プランクトンの著しい増殖を生ずるおそれがある海域について行うものとする。
- ※ 水産2種：一部の底生魚介類を除き，魚類を中心とした水産生物が多獲される。
- ※ 水産3種：汚濁に強い特定の水産生物が主に漁獲される。
- ※ 生物生息環境保全：年間を通して底生生物が生息できる限度。
- ※ []内は平成16年度暫定目標

資料2

平成13年度地下水の水質状況について

地下水の水質測定は、水質汚濁防止法第16条の規定に基づき、神奈川県知事が定める地下水質測定計画（以下「測定計画」という）により実施しています。

平成13年度は、測定計画に基づくメッシュ調査（市域を1km四方に区分）、定点調査（継続的に調査）、定期モニタリング調査及び汚染井戸周辺地区調査を実施しました。

なお、市独自の調査としてクロロホルムについても調査を実施しました。

平成13年度の測定結果は、次のとおりです。

1 測定内容

(1) 測定期間 : 平成13年10月～平成14年3月

(2) 測定地点数, 測定項目, 測定回数

ア メッシュ調査及び定点調査

調査の種類		メッシュ調査地点	定点調査地点
環境基準 項目 (25項目*)	重金属, PCB等7項目	19	8
	農薬等7項目	19	8
	有機塩素系化合物等11項目	76	8
その他項目	フェノール類	19	8
一般項目	pH, 水温等5項目	76	8
市独自項目	クロロホルム	76	8

* (環境基準項目は26項目あるが、アルキル水銀は総水銀が検出された場合に調査することにしたため、1項目少ない25項目とした。)

イ 定期モニタリング調査及び汚染井戸周辺地区調査

調査の種類	定期モニタリング調査	汚染井戸周辺地区調査
測定地点数	2	3 (1地域)
測定項目	汚染関連物質のみ	
測定回数	年1回	

2 測定結果の概要

(1) 概況調査

ア メッシュ調査: 76地点 (測定地点は図示のとおり)

鉛が1地点, ジクロロメタンが1地点, 四塩化炭素が1地点, シス-1,2-ジクロロエチレンが1地点, テトラクロロエチレンが2地点, 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が19地点, ふっ素が1地点, ほう素が5地点で検出さ

れましたが、このうち環境基準に不適合であったものは、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が2地点でした。

イ 定点調査：8地点

鉛が1地点、砒素が1地点、シス-1,2-ジクロロエチレンが1地点、ベンゼンが1地点、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が2地点、ふっ素が2地点、ほう素が4地点で検出されましたが、このうち環境基準に不適合であったものは、鉛が1地点、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が1地点でした。

調査地点

鶴見区	元宮二丁目公園	戸塚区	上倉田第五公園
神奈川区	菅田町松葉公園	泉区	和泉町第二公園
港北区	新田中学校	泉区	富士塚公園
緑区	いぶき野第三公園	瀬谷区	相沢小学校

(2) 定期モニタリング調査（戸塚区東俣野町と泉区新橋町の2地点）

シス-1,2-ジクロロエチレン、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素について調査を行った結果、トリクロロエチレン、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素が各1地点で環境基準に不適合でした。

(3) 汚染井戸周辺地区調査

戸塚区上倉田町地域の3井で、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレンを調査しました。その結果、いずれの地点でも検出された項目はありませんでした。

また、市独自の調査として、クロロホルムについても、メッシュ調査、定点調査と同じ地点で調査を行いました。その結果、2地点で検出されましたが、指針値以下でした。

測定計画に基づく地下水質調査結果及び市独自調査結果

調査項目	メッシュ調査			定点調査			環境基準値等 (mg/L)	
	調査 検体 数	検出 検体 数	基準超 過検体 数	調査 検体 数	検出 検体 数	基準超 過検体 数		
環 境	カドミウム	19	0	0	8	0	0.01 以下	
	全シアン	19	0	0	8	0	検出されないこと	
	鉛	19	1	0	8	1	0.01 以下	
	六価クロム	19	0	0	8	0	0.05 以下	
	砒素	19	0	0	8	1	0.01 以下	
基 準	総水銀	19	0	0	8	0	0.0005 以下	
	アルキル水銀	-	-	-	-	-	検出されないこと	
	PCB	19	0	0	8	0	検出されないこと	
項 目	ジクロロメタン	76	1	0	8	0	0.02 以下	
	四塩化炭素	76	1	0	8	0	0.002 以下	
	1,2-ジクロロエタン	76	0	0	8	0	0.004 以下	
	1,1-ジクロロエチレン	76	0	0	8	0	0.02 以下	
	シス-1,2-ジクロロエチレン	76	1	0	8	1	0.04 以下	
	1,1,1-トリクロロエタン	76	0	0	8	0	1 以下	
	1,1,2-トリクロロエタン	76	0	0	8	0	0.006 以下	
	トリクロロエチレン	76	0	0	8	0	0.03 以下	
	テトラクロロエチレン	76	2	0	8	0	0.01 以下	
	1,3-ジクロロプロペン	76	0	0	8	0	0.002 以下	
其 他 項 目	チウラム	19	0	0	8	0	0.006 以下	
	シマジン	19	0	0	8	0	0.003 以下	
	チオベンカルブ	19	0	0	8	0	0.02 以下	
	ベンゼン	76	0	0	8	1	0.01 以下	
	セレン	19	0	0	8	0	0.01 以下	
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	19	19	2	8	2	1	10 以下
	ふっ素	19	1	0	8	2	0	0.8 以下
	ほう素	19	5	0	8	4	0	1 以下
	その他項目	フェノール類	19	0	0	8	0	0.005 以下
	市独自項目	クロロホルム	76	2	0	8	0	0.006 以下
一般項目	pH	76	0	0	8	0	5.8~8.6	

検出検体数は基準超過検体数を含む。

- ※ 環境基準（平成9年3月13日 環境庁告示第10号，平成11年2月22日改正）
 フェノール類及びpH：水道法第4条に基づく水質基準値
 クロロホルム：水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件及び地下水の水質汚濁に係る環境基準についての一部を改正する件の施行等について（平成11年2月21日 環境庁水質保全局長通知）」に定める指針値

○ 環境基準超過項目について 単位：mg/L, かつこ内は環境基準値

調査の種類	環境基準超過項目	地 点	測定結果
メッシュ調査	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	緑区鴨居	15 (10)
		泉区岡津町	13 (10)
定点調査	鉛	戸塚区上倉田町	0.035 (0.01)
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	泉区下飯田町	11 (10)
定期モニタリング 調査	トリクロロエチレン	戸塚区東俣野町	0.21 (0.03)
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	泉区新橋町	21 (10)

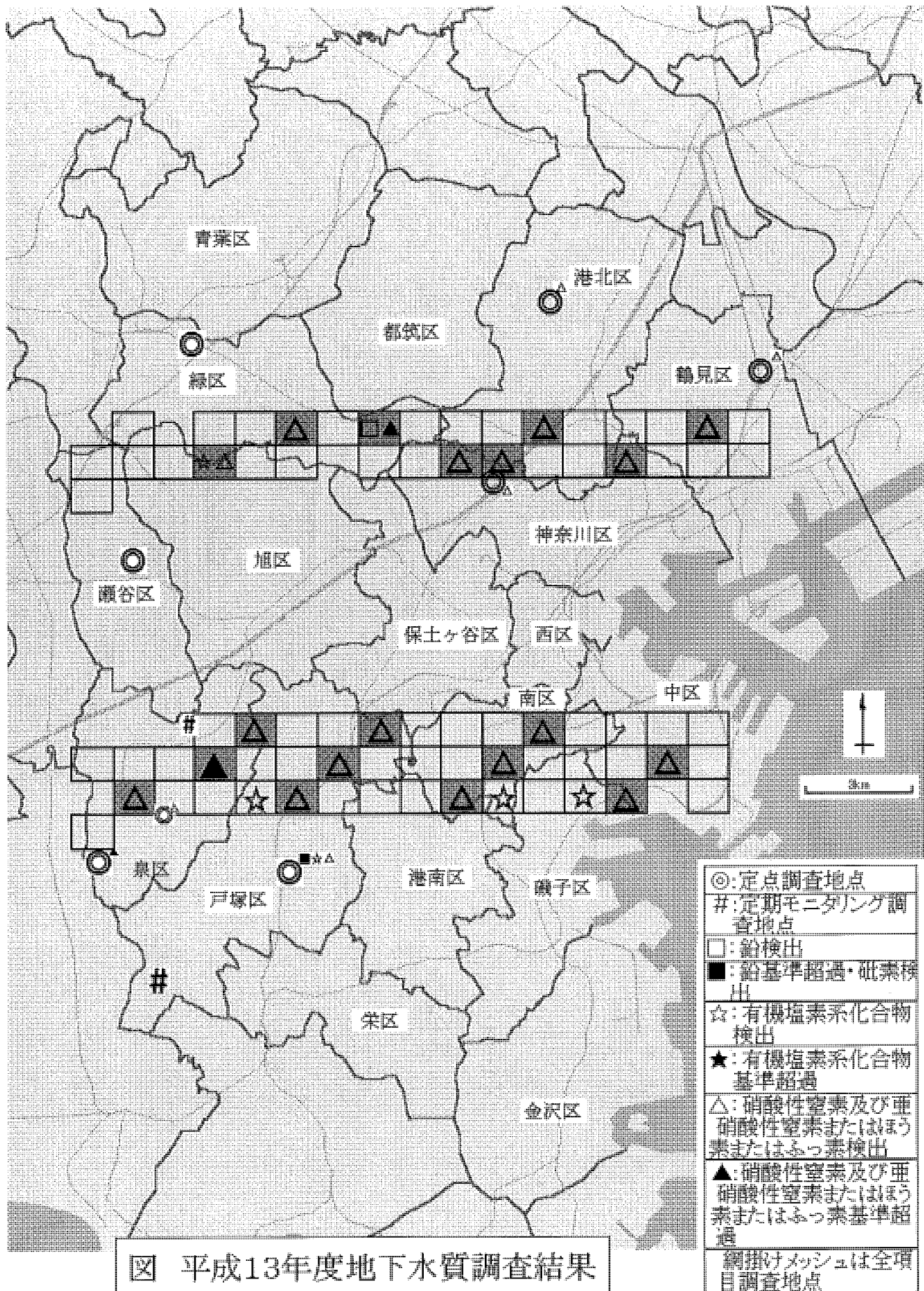
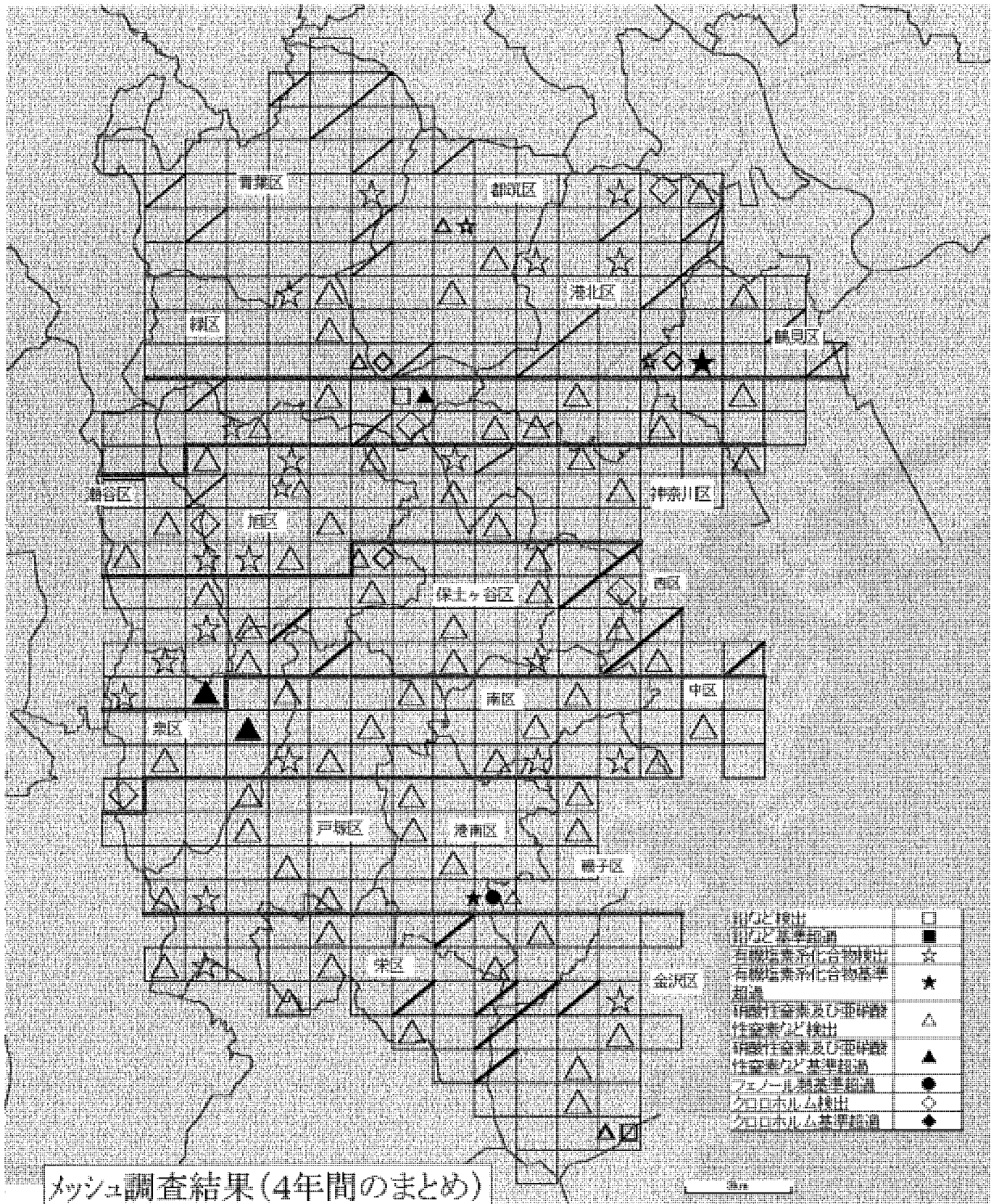


図 平成13年度地下水質調査結果



メッシュ調査結果(4年間のまとめ)